

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 中期事業計画の査定から本市の方向性を問う</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>令和5年5月に川本市長が就任されましたが、令和5年度の予算の骨格はすでに決まっていたことから、令和5年12月に示された中期事業計画（令和6年度～令和8年度）が川本市長体制となりました。</p> <p>また、3カ年計画である中期事業計画（令和6年度～令和8年度）は、市長の任期末と重なることから、市長が任期中に何を成そうとしているのかを読み取れるものと理解しています。</p> <p>それを踏まえ、各部局から (次ページへ)</p>	<p>(1) 中期事業計画の策定方針について</p>	<p>① 近年の本市における歳出の推移・内訳を見ると、義務的経費のうち扶助費の増加が著しく、今後も扶助費をはじめ、社会保障費の増大が予測されています。そのため、投資的経費の財源確保が大きな課題であり、必要な投資的事業をいかに選定していくかが重要だと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 投資的経費といえども、その多くは道路や橋りょうの改修・更新、上下水道施設の更新、学校施設の長寿命化、防災拠点の整備など、避けては通れないものが多いのが実情と考えます。そのなかで本市は、公共施設等の総量を減らす（機能集約・廃止）方針を打ち出し、学校の統廃合をはじめとする様々な取組みを進めてきました。瀬戸市公共施設等総合管理計画で示したこれらの方針は継続していく意向でよいのか伺います。</p> <p>③ 中期事業計画（令和6年度実施計画）の策定方針の特徴としては、「暮らしの4要素（住む/働く/学ぶ/育む）の充実」が据えられ、「策定にあたっての背景」が示されていることにあると捉えています。そのなかの「中長期的な財政見直しをもった政策展開」では、個別事業（費）の見直し、FM（公共建築物整備）事業費を含む投資的経費の平準化の検討を進めるとあります。今回の計画策定に対して、個別事業（費）の見直しをどのように行ったのか伺います。</p> <p>④ 同上、投資的経費の平準化とは具体的に何年までの経費を何年以降に移していくことを想定しているのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>挙げられた予算要求に対し、どのような政策判断を基に査定を行ったのか、どのような優先順位付けにしたのかを明らかにし、市長が目指す今後の本市の方向性について伺っていきます。</p> <p>※本質問は、内容が多岐に渡りますが、提案をした各部局に問うものではなく、提案に対して査定を行った市長以下、経営戦略部に問うものです。</p>	(2) 政策判断により廃止や縮小となった事業について	<p>① 暮らしの4要素のうち「学ぶ」「育む」について、中期事業計画策定にあたっての事業明細書によると、小学校・中学校それぞれの長寿命化工事、保育園の大規模改修は、「1年に1校(1園)ずつ開始されるようにしてください。」とコメントされ、査定により担当部局の提案額から大きく減額し、事業スケジュールの変更をしています。これによる財政的影響と、施設更新計画への影響、「学ぶ」「育む」への影響を伺います。</p> <p>② 暮らしの4要素のうち「学ぶ」「育む」について、菱野団地小中一貫校整備では、担当部局からの提案額に対して、本内示額は約78%の額でした。その前段階の仮内示額は、提案額の約43%の額でしたが、これはどのような意図であったのか、この仮内示額で魅力的な小中一貫校整備が実現できると考えたのか、「学ぶ」「育む」の充実は可能であると考えたのか伺います。</p> <p>③ 暮らしの4要素のうち「住む」「学ぶ」「育む」について、体育施設整備では、瀬戸市体育館・市民公園陸上競技場・市民プール・野球場の改修の提案に対してゼロ査定としています。コメントでは「公共施設全体で比較検討した結果見送りとします。」とありますが、今の改修を我慢して将来的に建て替えをするなど方針転換によるものなのか、公共施設全体のなかで体育施設はどのような位置付けであるのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>④ 暮らしの4要素のうち「住む」「学ぶ」「育む」について、公園施設整備の磁祖公園整備では、担当部局からの、R6年度基本計画策定、R7年度基本設計、R8年度実施設計の提案について、すべてゼロ査定としています。整備計画の見直しがまさに行われようとした矢先にストップした理由、暮らしの4要素への影響、今後の方針について伺います。</p> <p>⑤ 暮らしの4要素のうち「住む」「働く」「学ぶ」について、文化財保護普及(旧山繁商店)では、活用整備事業のすべてをゼロ査定としている一方、「施設の保存活用に効果的な事業内容を再検討し、政策推進課等と協議のうえ実施することとします。」としています。旧山繁商店の活用については賛否両論ありますが、両者の共通した意見は、「建物が日々朽ちていくなか、応急修繕だけを繰り返している現状のままではいけない。」ことだと考えます。それを踏まえ、暮らしの4要素への影響、今後の方針はどのようなか伺います。</p> <p>⑥ 暮らしの4要素のうち「住む」について、資源ごみ分別処理・ごみ減量促進では、担当部局からR6年10月からプラスチック製容器包装の週1回収集を提案されていましたが、「収集頻度は現状維持とし、拠点回収を実施しつつ、排出量や市民ニーズ等の動向を注視することとする。」としています。プラ収集実績は、昨年10月以降(プラ収集開始は一昨年10月)も前年度比で増加しており、週1回収集の市民ニーズも高いままだと考えます。担当部局からも提案されているなかで、これ以上動向を注視するとはどのような意味を持つのか、プラ分別・ごみ減量の鈍化を招きかねないとも考えますが、暮らしの4要素への影響も含め、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>⑦ 暮らしの4要素のうち「住む」「働く」「学ぶ」「育む」について、消防新庁舎整備事業では、新庁舎建設を「当面の間見送ることとし、現庁舎を継続使用するための大規模改修工事を行うこととする。」とし、再度の担当部局からの提案に対しても「市全体の投資的事業の財政需要増大により、昨年度までの査定を方針変更し、消防新庁舎整備建設工事を見送りとする。」としました。投資的事業の財政需要増大とは具体的に何か伺います。</p> <p>⑧ 同上、消防新庁舎整備事業の新庁舎建設見送りの方針については、昨年12月に中期事業計画において発表されましたが、本年1月1日に能登半島地震が発生し、防災・減災の大切さ、とりわけ本市においては、消防施設の大切さを見直すきっかけになっていると考えます。また、市長の予算大綱説明においても、「今回の震災を教訓として、本市における防災・減災対策を着実に進めてまいります。」と発言されていることから、施設の延命措置にしかならない大規模改修による整備方針は、再度見直す必要があると考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 政策判断により継続や拡充となった事業について	<p>① 本市の投資的事業の経費のうち、多くを占めるのが、FM事業(公共建築物整備)、大規模道路整備、区画整理、企業立地等補助金となっています。そのうち、FM事業(公共建築物整備)については、中項目(2)で示したとおり、多くの事業について、相当の廃止や縮小、事業スケジュールの見直しを図ったと認識しています。投資的経費の平準化と引き換えに、暮らしの4要素への影響は相当大きいと考えますが、見解を伺います。</p> <p>② 企業立地等補助金である立地促進奨励金は、歳入歳出のバランスが常に±0の事業であり、大規模道路整備については、着工中の事業と附属する事業であることから、投資的経費の平準化に寄与することが難しい事業だと認識していますが、見解を伺います。</p> <p>③ 中水野駅地区区画整理については、事業の必要性に賛否両論あるのが現状と捉えています。令和6～8年で約18億円の歳出を見込んでおり、担当部局の提案額に対して、ほぼ満額回答されています。現在示されている全体事業費は約65億円以上(うち市負担分約40億円)ですが、このほかに同地区で想定される歳出はどれほどか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

4 番	松原 大介 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 本市が向かうべき方向性について	<p>④ 中水野駅地区区画整理について、第6次総合計画はじめ各種計画において示している、「鉄道駅を中心としたコンパクトな都市構造」という基本的な考え方のもと、水野地域の拠点としていく方向性には、過去から現在において概ね賛同しています。しかしながら、財政的観点において、この事業を進めていくことで、中項目(2)で挙げた事業を中心に、他事業への影響は相当大きいと考えることから、中水野駅地区区画整理の事業規模と事業スケジュールについて、他事業と同様に、適正かどうか再度見直す必要があるのではと考えますが、見解を伺います。</p> <p>① 市長は「かたよらない市政の実現」を掲げ、「暮らしの4要素の充実」に資する政策展開をしております。これまでの質問を踏まえ、投資的事業の優先順位付けをどのように行ったのか伺います。</p> <p>② 投資的経費の平準化の観点において、相当数の事業スケジュールの見直しをされましたが、特に大きな歳出を伴う大規模道路整備と中水野駅地区区画整理の事業スケジュールが重複していることによる影響は大きいと考えますが、見解を伺います。</p> <p>③ 「かたよらない市政の実現」「暮らしの4要素の充実」という市長の方針と、中期事業計画における投資的事業の査定では、方向性が乖離しているように感じます。今回査定をした事業のうち、全市民の暮らしに影響する事業については、再度見直しを図ってはと考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。